

2019年度

日本学生支援機構奨学金予約採用説明会

説明資料

2019年5月22日

独立行政法人日本学生支援機構

貸与・給付部

目 次

I	奨学金の概要	2
II	新たな給付奨学金について	3
III	貸与奨学金について	10
IV	生徒及び学校の負担軽減に向けて	13
V	申込・推薦手順の概要	15
VI	申込手順の要点	15
VII	推薦手順について	24
VIII	採用候補者への対応	27
IX	ご案内	28

1. 奨学金の種類

第一種奨学金（無利息）

第二種奨学金（利息付）

奨学生本人名義の口座に毎月振込み、貸与終了（卒業）後に返還。
初回振込時の一時金（入学時特別増額貸与奨学金）の付加が可能。

給付奨学金

奨学生本人名義の口座に毎月振込み、原則返還不要。

2. 採用種別

予約採用

大学等に**進学する前年度**に申し込む。

在学採用

大学等に**進学後**に申し込む。

I 奨学金の概要

3. 予約採用の流れ

申込み（生徒）

- インターネット（スカラネット）で申込み
 - 申込書類の提出
 - マイナンバーの提出
- ※ 学校で取りまとめ ※ 生徒から直接機構に郵送

推薦（学校→機構）

- インターネット（スカラAC）で推薦
- 申込書類の送付

採用候補者の決定（機構）

- 審査のうえ採用候補者を決定

採用候補者への通知（機構→学校→生徒）

- 機構から到着した「採用候補者決定通知」等を生徒に交付

※大学等へ進学（高専は4年次に進級）

進学届の提出（学生→機構）

- 大学等に**進学後**、**進学届**の提出（インターネット）により**奨学生**に採用
- 奨学金の振込開始

Ⅱ 新たな給付奨学金について

2020年4月から、真に支援が必要な低所得者世帯の者に対して、大学、短期大学、高等専門学校（4～5年生）、専修学校専門課程における授業料等減免制度の創設と併せて**給付奨学金が拡充**されます。

（注）関係法令の改正等の状況を踏まえ、変更が生じる場合があります。

1. 対象となる学校種

大学・短期大学・高等専門学校（4～5年生）・専修学校（専門課程）

- 新たな給付奨学金を利用できる進学先は、国等から対象となることの確認を受けた学校です。
対象校は、文部科学省や都道府県等より、2019年9月中下旬に公表される予定です。

2. 実施時期

2020年4月から支援が始まります。

2020年度進学予定者を対象として**2019年度に募集する予約採用から**対象となります。

※ 申込・推薦スケジュール等の予定は、この後の「6. 高校等における事務手続き」で説明します。

Ⅱ 新たな給付奨学金について

3. 対象者の要件

(1) 家計の経済状況に係る要件

所得要件

住民税非課税世帯及びそれに準ずる世帯の学生等

具体的には、以下の支援区分（第Ⅰ区分～第Ⅲ区分）のいずれかに該当すること

支援区分	年収の目安
【第Ⅰ区分】住民税非課税世帯の者	約270万円以下
【第Ⅱ区分】住民税非課税世帯に準ずる世帯の者	約300万円以下
【第Ⅲ区分】住民税非課税世帯に準ずる世帯の者	約380万円以下

- 各区分の具体的な基準等については、法令で規定される予定です。
- 学生の生計を維持する者（生計維持者）及び本人の所得を合計します。
- 年収の目安は、両親、本人、中学生の4人世帯を想定しています。
- 所得要件の確認は、原則として**提出されたマイナンバーにより機構が確認**します。

「家計支持者」について、今年度から用語を改め「**生計維持者**」としました。（内容に変更はありません）

資産要件

本人及び生計維持者の預貯金、有価証券、現金等の資産の合計額が基準額未満であること
（生計維持者が1人の場合：1,250万円、2人の場合：2,000万円）

- **資産に関する証明書（通帳の写し等）の提出は不要**となります。

Ⅱ 新たな給付奨学金について

【参考】収入・所得の上限額の目安

(単位：万円)

世帯 人数	想定する世帯構成	(★)が給与所得者の世帯 (年間の収入金額)			(★)が給与所得者以外の世帯 (年間の所得金額)		
		第Ⅰ区分	第Ⅱ区分	第Ⅲ区分	第Ⅰ区分	第Ⅱ区分	第Ⅲ区分
2人	本人、母(★)	207	298	373	125	176	230
3人	本人、母(★)、中学生	221	298	373	137	178	234
4人	本人、親①(★)、親②(無収入)、 中学生	271	303	378	172	191	255
5人	本人、親①(★)、親②(パート)、 大学生、中学生	親①：321 親②：100	親①：395 親②：100	親①：461 親②：100	親①：207 親②：100	親①：256 親②：100	親①：309 親②：100

- 表中の数字は目安の金額です。所得要件は収入・所得に基づく課税標準額等により設定されるため、世帯構成、障害者の有無、各種保険料の支払い状況等により、目安の金額を上回っていても対象となる場合や下回っていても対象とならない場合があります。
- 機構のホームページに掲載している「[進学資金シミュレーター](https://www.jasso.go.jp/shogakukin/oyakudachi/shogakukin-simulator.html)」で、対象となるかおおよその確認ができます。
<https://www.jasso.go.jp/shogakukin/oyakudachi/shogakukin-simulator.html>

※「[進学資金シミュレーター](#)」は、この後の8ページ下段で紹介します。

Ⅱ 新たな給付奨学金について

(2) 学業等に係る要件

- ① 申込時までの評定平均値が**3.5以上**であること
- ② ①に該当しない場合は、レポートの提出や学校における面談(※)により、**学修意欲等が認められること**

(※) 高校等における**通常の進路指導におけるレポートや面談記録等があれば足りる**ものとし、その旨を**文部科学省が策定する手引き**に明記する予定
(参考として、レポート様式なども提示予定)

(3) その他の要件等

- ① 日本国籍を有する者、法定特別永住者、永住者、日本人の配偶者等、永住者の配偶者等
又は永住の意思が認められる定住者であること
- ② 高校等在学中又は高校等卒業後2年以内であること

Ⅱ 新たな給付奨学金について

4. 支給額

現行の給付奨学金

設置者・学種	通学形態別年額	
国公立（大学・短期大学・専修学校専門課程）	自宅通学：24万円	自宅外通学：36万円
私立（大学・短期大学・専修学校専門課程）	自宅通学：36万円	自宅外通学：48万円



新たな給付奨学金

住民税非課税世帯の場合の給付額（年額）

設置者・学種	通学形態別年額	
国公立（大学・短期大学・専修学校専門課程）	自宅通学：約35万円	自宅外通学：約80万円
私立（大学・短期大学・専修学校専門課程）	自宅通学：約46万円	自宅外通学：約91万円

- 高等専門学校に在籍する学生については、大学生の5割～7割程度の額が予定されています。（6ページ上段参照）
- 支給の際は月額に換算し、毎月奨学生本人名義の口座に振込みます。
- 上表の金額は「第Ⅰ区分」のもので、**「第Ⅱ区分」「第Ⅲ区分」はそれぞれ「第Ⅰ区分」の2/3、1/3の金額となります。**
- **第一種奨学金を併せて利用する場合、第一種奨学金の貸与を受けられる上限額が制限されます。**（希望月額が貸与されない場合があります。）

Ⅱ 新たな給付奨学金について

支給額（新たな給付奨学金）

（1）大学・短期大学・専修学校（専門課程）

（月額）

区分	国公立		私立	
	自宅通学	自宅外通学	自宅通学	自宅外通学
第Ⅰ区分 （住民税非課税世帯の者）	29,200円 （33,300円）	66,700円	38,300円 （42,500円）	75,800円
第Ⅱ区分 （住民税非課税世帯に準ずる世帯の者）	19,500円 （22,200円）	44,500円	25,600円 （28,400円）	50,600円
第Ⅲ区分 （住民税非課税世帯に準ずる世帯の者）	9,800円 （11,100円）	22,300円	12,800円 （14,200円）	25,300円

- **第一種奨学金を併せて利用する場合、第一種奨学金の貸与を受けられる上限額が制限されます。**（希望月額が貸与されない場合があります。）
- 生活保護世帯（受けている扶助の種類を問いません。）の人及び進学後も児童養護施設等（※）から通学する人は、上表のカッコ内の金額となります。

※「児童養護施設等」とは、児童養護施設、児童自立支援施設、児童心理治療施設（情緒障害児短期治療施設から改称）、児童自立生活援助事業（自立援助ホーム）を行う者、小規模住居型児童養育事業（ファミリーホーム）を行う者、里親を指します。

- 通信教育課程では、国公立・私立、自宅通学・自宅外通学に関らず、（第Ⅰ区分）51,000円、（第Ⅱ区分）34,000円、（第Ⅲ区分）17,000円が年1回支給されます。

Ⅱ 新たな給付奨学金について

(2) 高等専門学校

(月額)

区分	国公立		私立	
	自宅通学	自宅外通学	自宅通学	自宅外通学
第Ⅰ区分 (住民税非課税世帯の者)	17,500円 (25,800円)	34,200円	26,700円 (35,000円)	43,300円
第Ⅱ区分 (住民税非課税世帯に準する世帯の者)	11,700円 (17,200円)	22,800円	17,800円 (23,400円)	28,900円
第Ⅲ区分 (住民税非課税世帯に準する世帯の者)	5,900円 (8,600円)	11,400円	8,900円 (11,700円)	14,500円

- **第一種奨学金を併せて利用する場合、第一種奨学金の貸与を受けられる上限額が制限されます。** (希望月額が貸与されない場合があります。)
- 生活保護世帯(受けている扶助の種類を問いません。)の人及び進学後も児童養護施設等(※)から通学する人は、上表のカッコ内の金額となります。

※「児童養護施設等」とは、児童養護施設、児童自立支援施設、児童心理治療施設(情緒障害児短期治療施設から改称)、児童自立生活援助事業(自立援助ホーム)を行う者、小規模住居型児童養育事業(ファミリーホーム)を行う者、里親を指します。

Ⅱ 新たな給付奨学金について

5. 進学後の手続き等

- ① **進学先の学校**で別途手続きを行うことで、大学等における**授業料及び入学金減免も併せて対象**となります。
- ② 進学後、毎年度行う**適格認定**(奨学金継続の手続き)においては、学業等の状況について要件が課され、これに満たない場合には支援が打ち切られることになります。

また、**機構はマイナンバーを利用して、毎年度、家計要件を確認し、10月に支援額の見直し等を行います。**

※ 申込時にマイナンバーを提出できない者については、支援期間中、**毎年、所得に関する書類を提出していただきます。**

2020年度以降は、進学前に高等学校等を通じて申し込む予約採用と併せて、**進学先の大学等を通じて申し込む在学採用**の実施を予定しています。

6. 高校等における事務手続き

(1) スケジュール

- ・ 申込・推薦書類の各学校送付： 5月下旬～6月上旬 （詳細は7ページ下段）
- ・ インターネットによる申込画面： 6月17日（月） に開放予定
- ・ 推薦期限： 8月9日（金）
8月9日までの推薦が困難な場合は、9月13日（金）まで推薦受付。
- ・ 選考結果通知： 12月予定（8月9日を過ぎた推薦分は1月下旬頃の通知見込み）

- 貸与奨学金も給付奨学金と同じスケジュールとなります。

Ⅱ 新たな給付奨学金について

■ 申込・推薦書類の各学校送付について

※ 5月下旬～6月上旬に以下の資料等を送付します。

※ 確定した内容をできるだけ速やかにお知らせできるよう発送回数を分けて送付します。

	発送物	発送時期
1	識別番号 （生徒用と学校用のユーザID・パスワード） 16ページ下段参照	<u>5月20日（月）</u> までに発送完了
2	事前周知資料 （生徒配付用の新給付リーフレット） 次ページ参照	<u>5月24日（金）</u> までに発送予定
3	学校用資料① （生徒説明用DVD、保護者向けの新給付リーフレット、奨学金ガイドブック 等）	<u>5月27日（金）～31日（金）</u> に発送予定
4	学校用資料② （推薦事務のてびき、学修意欲確認等の手引き【文部科学省作成】）	<u>6月7日（金）</u> に発送予定
5	申込用資料 （奨学金案内、マイナンバー提出書等） 15～16ページ参照	<u>5月末～6月7日（金）</u> に発送予定
6	推薦依頼文（各学校に対し、募集日程等の詳細を示し、奨学金希望者の推薦を依頼します）	<u>6月上旬</u> に発送予定

Ⅱ 新たな給付奨学金について

■事前周知資料（生徒配付用の新給付リーフレット）

A4サイズ1枚（両面）

このリーフレットは、新しい給付型奨学金制度の周知を目的としたものです。ホームルーム等での配付に際し、お伝えいただきたいポイントを記載しています。

高校生のみなさんへ

経済的理由で進学をあきらめないよう

学びたい気持ちを応援します！

大学・短期大学・高等専門学校（4年・5年）・専門学校に進学する人が対象!!!

新しい「給付型奨学金」と「授業料等減免」
2020年4月からスタート!

調べてみよう!
「高等教育への進学支援」

詳しくは裏面へ▶▶

進路を考えるとき、お金のことがちょっと気になる...
話しにくいけど、大切なことです。

そもそも奨学金には
「給付型」と「貸与型」があります。

2020年4月入学の人に、ビッグニュース!!

「給付型奨学金」の対象が広がります。
授業料・入学金もサポートしてもらえるようになります!

【新しい支援対象の学校は?】
大学・短期大学・高等専門学校・専門学校で
国の指定を受けた学校(2019年度以降公表)

【どんな人が対象になるの?】
世帯収入の要件を満たしていること(住民税非課税世帯及びそれに準ずる世帯)
学ぶ意欲のある学生であること(高校が成績だけで判断せず、レポートなどで学ぶ意欲を評価)
進学後にしっかり勉強しなかった場合には支援が打ち切られます

【支援額はどれくらい?】
住民税非課税世帯等の学生で
私立大学に自宅外から通う場合
・給付型奨学金が年額約9万円支給されます。
・入学金約26万円、授業料が年額約70万円を上回る場合
住民税非課税世帯に準ずる世帯の場合
・住民税非課税世帯等の学生の
2/3又は1/3の金額が支援されます。
※家族構成や世帯収入で支援額は異なります。

2019年(高校3年生)申請スケジュール

5月15日頃
自分が給付型奨学金の対象か、JASSOのサイトなどで家族と一緒に調べよう

7月頃
「対象かも」と思ったら、先生に申請書類をもらおう

8月頃
JASSOの奨学金申込専用サイト「スカラネット」で申し込み(一部、書類の提出が必要)

12月頃
国等が対象となる学校を公表
自分の進学予定校が対象となるか確認しよう

2020年4月
支援の対象になったら通知が届く(予約採用の候補者決定通知)
対象となる学校に入学
「スカラネット」で進学届を提出
授業料等の減免は、進学先で手続き

新しい支援制度
くわしくは特設サイトへ

Ⅱ 新たな給付奨学金について

■進学資金シミュレーター

<https://www.jasso.go.jp/shogakukin/oyakudachi/shogakukin-simulator.html>

「進学資金シミュレーター」の「給付奨学金シミュレーション」では、国の新しい給付奨学金制度の対象になるかどうかを調べることができます。

◆給付奨学金シミュレーション（生徒・学生向け）

いくつかの質問に答えることで、給付奨学金を受けることができる年収の目安を簡単に知ることができます。

◆給付奨学金シミュレーション（保護者の方向け）

世帯の年収等を答えることで、給付奨学金を受けることができるかを詳細に知ることができます。

ご利用にあたって不明な点や詳しい利用方法については、機構のホームページ掲載「給付奨学金シミュレーションかんたんガイド（生徒・学生向け）」「給付奨学金シミュレーションご利用の手引き」をご覧ください。

独立行政法人
日本学生支援機構
JASSO Japan Student Services Organization

ホーム >

進学したら、生活費はいくらかかるのかな?

進学資金シミュレーター

僕にも利用できる奨学金があるか、調べたいな。

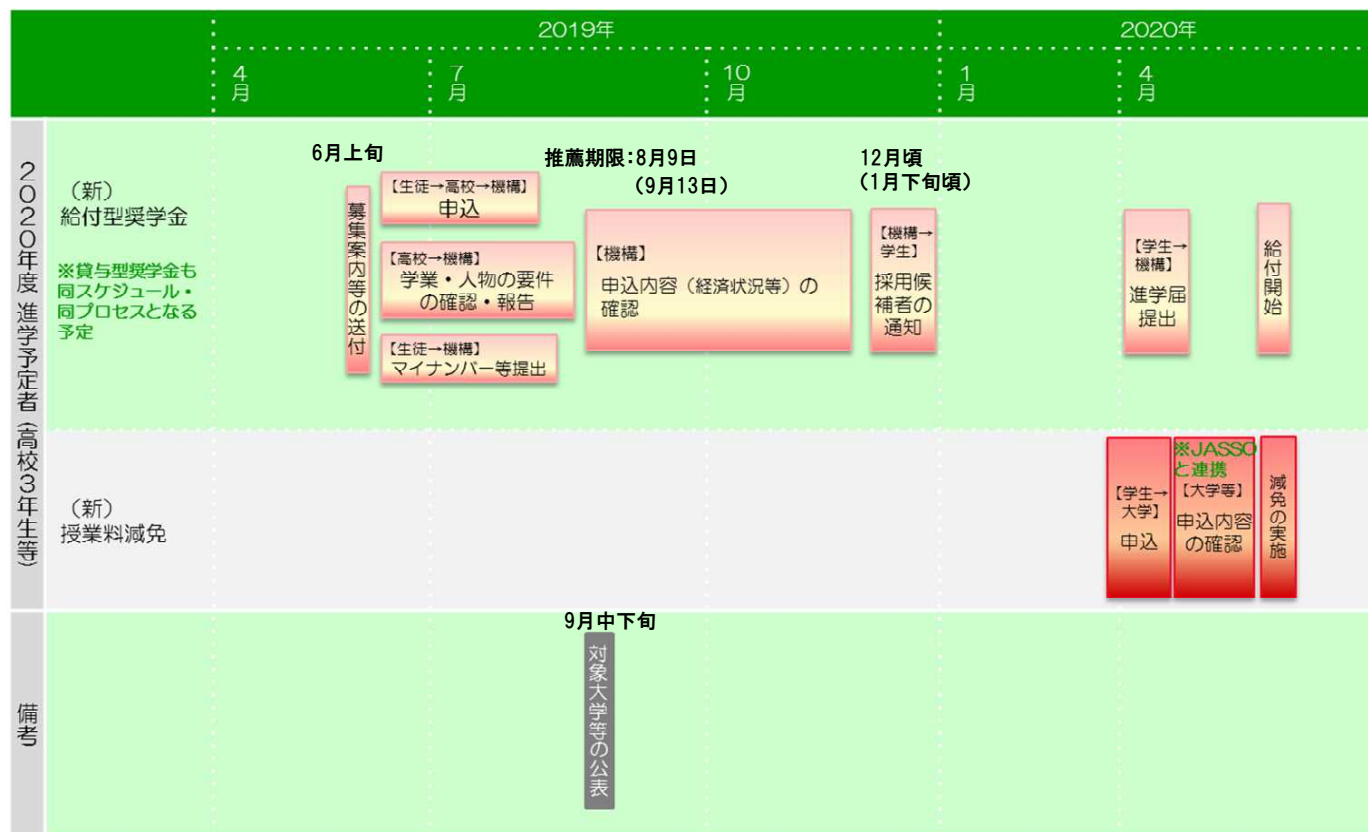
進学を考えている高校生、在学中の方や保護者の皆様に向けた、進学資金や奨学金に関するシミュレーターです。
このシミュレーターを使うことで、「進学したらどれくらいお金が必要になるのか」「どの奨学金の対象になるのか」「給付や貸与の額はどの程度になるのか」等を簡単に調べることができます。

シミュレーションする

※貸与奨学金のシミュレーションも行うことができます。

Ⅱ 新たな給付奨学金について

■スケジュール（イメージ）



Ⅱ 新たな給付奨学金について

(2) 証明書類について

原則として、提出されたマイナンバーにより家計要件の確認を機構において行いますが、海外在住等の理由によりマイナンバーを提出できない場合は、代替となる証明書類を提出する必要があります。

- 新たな給付奨学金では、本人に所得があって市町村民税を課税される場合は、所得の判定に影響するため、本人の課税証明書を提出する必要があります。（21ページ上段参照）
- 貸与奨学金の審査において、マイナンバーで確認できない所得等の情報が必要な一部の該当者については、引き続き証明書類の提出により確認します。
- インターネットからの申込みは、2019年度からモバイル端末（スマートフォン・タブレット）でも行えるようになります。

(3) 推薦基準・推薦枠について

学校ごとの推薦枠（推薦人数の上限）は設けず、また、各学校における推薦基準の策定についても不要となります。（一定の要件を満たせば、給付奨学金の支給対象となる予定）

Ⅱ 新たな給付奨学金について

(参考) 新旧制度の比較

	給付奨学金 (現行制度)	給付奨学金 (新制度)	(参考) 貸与奨学金
推薦枠 (推薦人数の上限)	あり	なし	なし
推薦基準の 学校策定	必要	不要	不要
所得要件	非課税世帯 <small>※生活保護受給世帯、社会的養護を必要とする人を含む</small>	非課税世帯 <u>＋非課税世帯に準ずる世帯</u>	奨学金の種類ごとの 収入基準
所得情報	マイナンバーにより取得 <small>※マイナンバーで取得できない情報がある場合は、証明書類の提出が必要</small>	マイナンバーにより取得 <small>※申込者本人に市町村民税が課税されているときは証明書類の提出が必要</small>	マイナンバーにより取得 <small>※マイナンバーで取得できない情報がある場合は、証明書類の提出が必要</small>
資産要件	あり (証明書類提出必要)	あり (証明書類提出 <u>不要</u>)	なし
対象学種	大学・短大・高専(4～5年) ・専修(専門)	大学・短大・高専(4～5年) ・専修(専門) <u>要件を確認された学校のみ</u>	大学・短大・高専 ・専修(専門)

Ⅲ 貸与奨学金について

1. 貸与奨学金の種類・基準

	第一種奨学金	第二種奨学金	入学時特別増額貸与奨学金
利息	無利息	利息付 (在学中は無利息)	利息付 (在学中は無利息)
貸与方法	奨学生本人名義の普通預金・通常貯金口座への <u>毎月の振込</u>		第一種又は第二種奨学金の 初回の振込時に 増額して振込(1回限り)
基準	特に優れた学生等で 経済的理由により 著しく修学困難な人	優れた学生等で 経済的理由により 修学困難な人 (第一種奨学金より ゆるやかな基準)	日本政策金融公庫の 「国の教育ローン」を申込み 審査が通らなかった人 (申込時の家計収入が一定額以下 の場合は、「国の教育ローン」 の申込手続きを省略可)

第一種と第二種奨学金の両方の貸与(併用貸与)も可能

単独での利用はできません

2. 貸与金額

第一種奨学金

申込時における生計維持者の収入が一定額以上の場合、最高月額以外の月額から選択（最高月額は選択不可）。
給付奨学金を併せて利用する場合、第一種奨学金の貸与を受けられる上限額が制限されます。（希望月額が貸与されない場合があります。）

区分	大学				短期大学・専修学校（専門課程）・高等専門学校（4・5年生）			
	国公立		私立		国公立		私立	
	自宅	自宅外	自宅	自宅外	自宅	自宅外	自宅	自宅外
最高月額	45,000円	51,000円	54,000円	64,000円	45,000円	51,000円	53,000円	60,000円
最高月額 以外の月額				50,000円				50,000円
		40,000円	40,000円	40,000円		40,000円	40,000円	40,000円
	30,000円	30,000円	30,000円	30,000円	30,000円	30,000円	30,000円	30,000円
	20,000円	20,000円	20,000円	20,000円	20,000円	20,000円	20,000円	20,000円

第二種奨学金

自由に選択可

入学時特別増額貸与奨学金

自由に選択可

	大学・短期大学・専修学校（専門課程） ・高等専門学校（4・5年生）
貸与月額	2万円 ～ 12万円（1万円単位）

	大学・短期大学・専修学校（専門課程）
貸与額	10万円 ～ 50万円（10万円単位）

- 私立大学の医学・歯学・薬学・獣医学の課程の場合、12万円を選択した場合に限り次の増額が認められます。
医学・歯学の課程・・・4万円（合計16万円）
薬学・獣医学の課程・・・2万円（合計14万円）

3. 奨学金の返還

(1) 返還方式

所得連動返還方式

卒業後の所得に応じて毎月の返還額が変動します。（返還期間も変動します。）

- 第二種奨学金・入学時特別増額貸与奨学金は定額返還方式での返還になります。

定額返還方式

毎月一定額を返還します。（返還期間は一定です。）

(2) 割賦方法

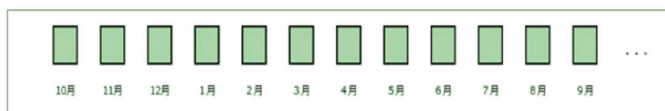
（定額返還方式の場合のみ選択します）

月賦返還

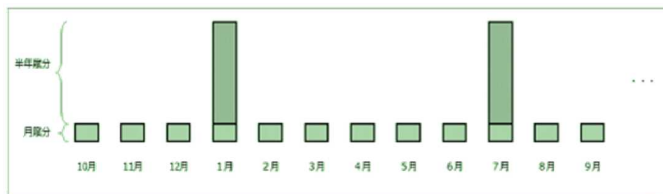
毎月定額での返還

月賦・半年賦併用返還

返還金の半分については毎月定額で返還し（月賦分）、もう半分については半年に1回（1月と7月）定額で返還する（半年賦分）、月賦と半年賦とを併せた返還



（月賦返還）



（月賦・半年賦併用返還）

(3) 保証制度

機関保証

保証機関（日本国際教育支援協会）に**保証料**を支払い、連帯保証を受けます。

- **保証料を支払っているから「奨学金の返還をしなくても構わない」ということではありません。**
- **所得連動返還方式**を選択した奨学金については、機関保証とする**必要があります**。

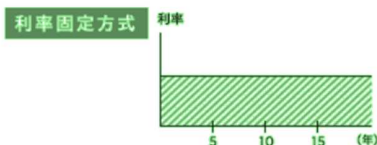
人的保証

条件に合う**連帯保証人**（父母）・**保証人**（おじ・おば等）を自ら依頼・選任します。

(4) 利率の算定方法

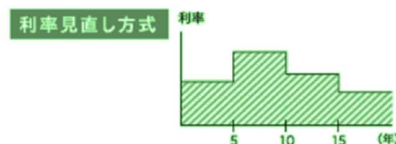
利率固定方式

貸与終了時に決定した利率が、**返還が完了するまで変わりません**。



利率見直し方式

貸与終了時に決定した利率について、おおむね**5年ごとに利率の見直し**が行われます。



【参考】平成31年3月に貸与が終了した奨学金の利率（基礎月額に係る利率）

- 固定方式：年0.14%
- 見直し方式：年0.01%

4. 返還中の制度・手続き

返還の開始

奨学金の返還は、**貸与終了の翌月から数えて7か月目の月**から始まります。

- 3月貸与終了（卒業）の場合、10月27日が初回の返還期日となります。

繰上返還

次回以降に返還する分を繰り上げて返還できる制度です。

減額返還

病気・失業等で奨学金の返還が困難になった場合、**毎月の返還額を減額**して返還する制度です。

- 毎月の返還額を1/2（1/3）にすることができます。
- 「**所得連動返還方式**」を選択している奨学金については**利用できません**。

返還期限の猶予

病気・失業等で奨学金の返還が困難になった場合、**返還を先送り**する制度です。

- 申込時に申告された年収が一定額以下の場合、期間の制限無く利用できます（「**猶予年限特例**」）。
- 猶予期間中は**無利息**です。
- 貸与終了後に引き続き在学する場合や、別の学校に在学する場合も、願出により返還期限が猶予されます（「**在学猶予**」）。

返還免除

本人が死亡又は精神・身体の障害により労働能力を喪失した場合、返還未済額の全部又は一部が免除される制度です。

個人信用情報の取扱い

返還が一定期間以上滞った場合、延滞となっていること（個人情報）が個人信用情報機関に登録されます。

- 貸与奨学金の申込時に、この取扱いに同意する必要があります。
- 一度登録されると、延滞を解消しても、延滞が解消されたという情報として更新され、登録された情報は返還完了後5年後に削除されます。

Ⅳ 生徒及び学校の負担軽減に向けて

1. 奨学金希望者等からのお問い合わせ窓口を開設しています。

奨学金希望者（生徒・保護者）等からの奨学金制度や手続きに関する一般的なお問い合わせに関する
電話相談窓口として、「奨学金相談センター」を開設しました。

○ 日本学生支援機構 奨学金相談センター

電話（ナビダイヤル）： 0570-666-301（平日 9時～20時）

マイナンバーの提出に関する奨学金申込者からのお問い合わせは、別途設置している以下の専用相談窓口で対応しています。

○ マイナンバー提出専用コールセンター

電話（ナビダイヤル）： 0570-001-237（平日 9時～18時）

Ⅳ 生徒及び学校の負担軽減に向けて

2. 給付奨学金の推薦枠が撤廃され、 学校による推薦基準の作成が不要となります。（再掲）

学校ごとの推薦枠（推薦人数の上限）が撤廃され、学校による推薦基準の策定が不要となります。

（一定の要件を満たせば、給付奨学金の支給対象となる予定）

3. 給付奨学金の「資産の申告書」（様式）の提出が不要となります。 （再掲）

「資産の申告書（様式）」及び証明書類（預貯金通帳の写し等）の提出が不要となります。

なお、生徒が申し込む際、資産額の入力（申告）は必要となりますが、この場合も、生徒が入力した資産額を学校が確認することはありません。

4. 収入金額等の入力・学校確認等が不要となります。

① 給付奨学金の家計要件に関する証明書類提出が不要となります。

原則として、提出されたマイナンバーにより経済要件の確認を機構が行うため、
課税証明書等の提出・学校確認が不要となります。

② 貸与奨学金の収入金額等の入力・学校確認が不要となります。

貸与奨学金においては、一部マイナンバーで確認できない収入金額等の情報は、引き続き
証明書類の提出により確認することになりますが、この場合の収入金額のインターネット
入力や学校確認は不要となります。

③ 奨学金振込口座情報の入力が不要となります。

奨学金振込口座の情報（金融機関、口座番号等）は全て進学時に入力（登録）することとし、
申込時の入力が不要となります。

5. モバイル端末（スマートフォン・タブレット）の利用が可能となります。

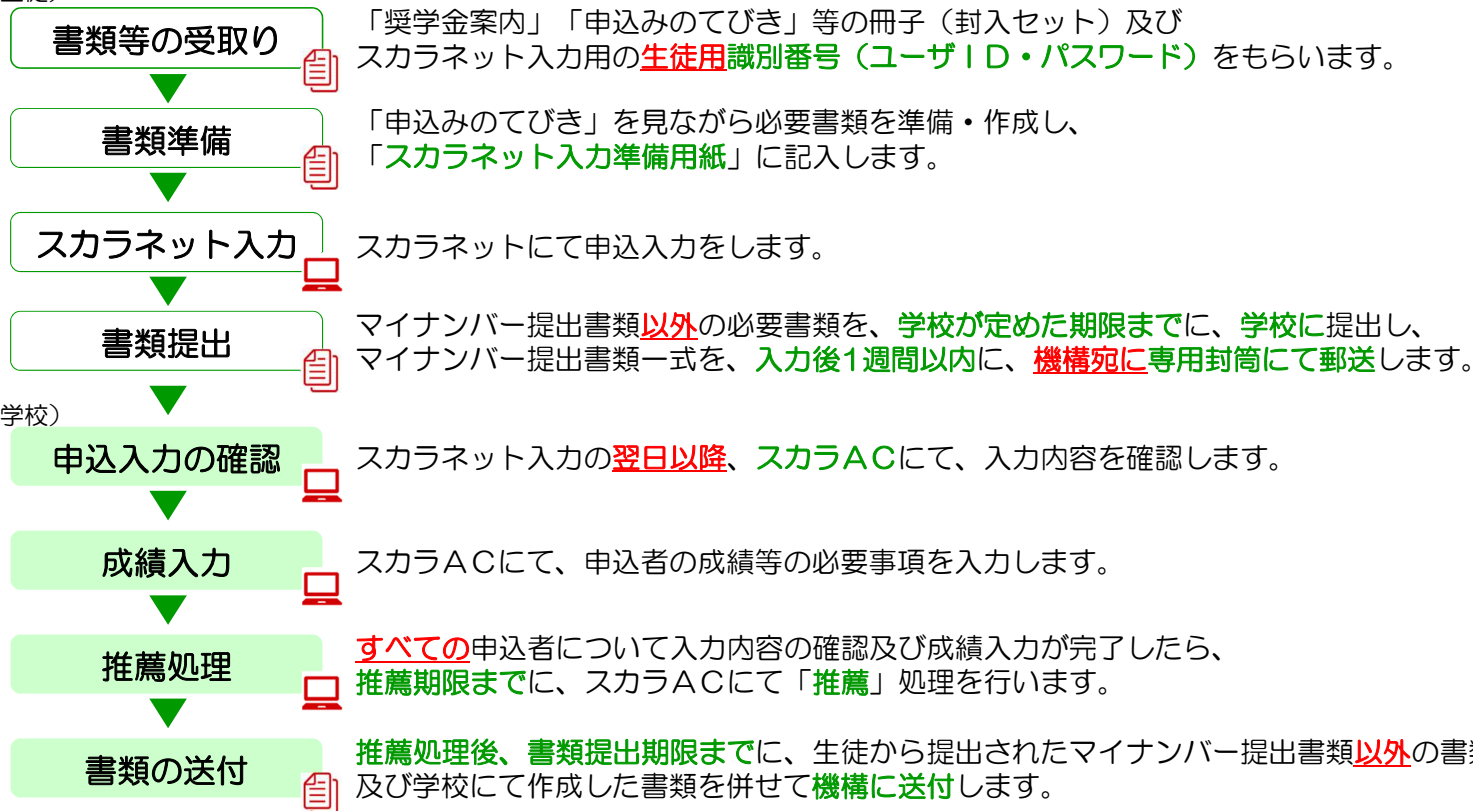
奨学金希望者がインターネットから行う申込みは、2019年度からモバイル端末（スマート
フォン・タブレット）でも行えるようになります。

V 申込・推薦手続の概要

申込・推薦手続の流れ

(学校にて期限を設定して実施してください)

(生徒)



VI 申込手続の要点

1. 必要書類の受取り

申込関係書類及び識別番号を交付のうえ、スカラネットでの**申込入力の期限・書類提出期限**を伝えてください。

申込関係書類 次の①～⑥の申込関係書類一式は、封筒に封入した形で各学校にお送りします。

- | | |
|------------------|--|
| ① 「奨学金制度早わかりガイド」 | 奨学金制度の概要の説明冊子です。②・③の要点を記載しています。 |
| ② 「給付奨学金案内」 | 給付奨学金について詳しく説明している冊子です。 |
| ③ 「貸与奨学金案内」 | 貸与奨学金について詳しく説明している冊子です。 |
| ④ 「申込みのてびき」 | 申込手続の説明冊子です。 様式集・「スカラネット入力準備用紙」 が挟み込まれています。 |
| ⑤ マイナンバー提出書のセット | マイナンバーの提出に使用する次の3点セットです。（青色封筒に封入） |
| ⑤-1 「マイナンバー提出書」 | マイナンバーを提出する人の氏名等及びマイナンバーを記入する様式です。 |
| ⑤-2 説明資料 | 必要な添付書類（番号確認書類・身元確認書類）や提出方法等の説明チラシです。 |
| ⑤-3 提出用封筒（青色） | 「マイナンバー提出書」及び添付書類を封入し、提出する際に使用する封筒です。 |
| ⑥ チラシ等 | 機関保証制度に関するチラシ、授業料等減免制度に関するチラシ（文部科学省作成） |

- 例年の送付部数や昨年度の送付実績をもとに各学校へ送付します。
- 不足がある場合は、お手数ですが機構までご連絡ください。（FAXにより追加送付のご依頼をお願いします）

Ⅵ 申込手續の要点

奨学金制度 早わかりガイド



給付奨学金案内



貸与奨学金案内



申込みのてびき



Ⅵ 申込手續の要点

識別番号（ユーザID・パスワード）

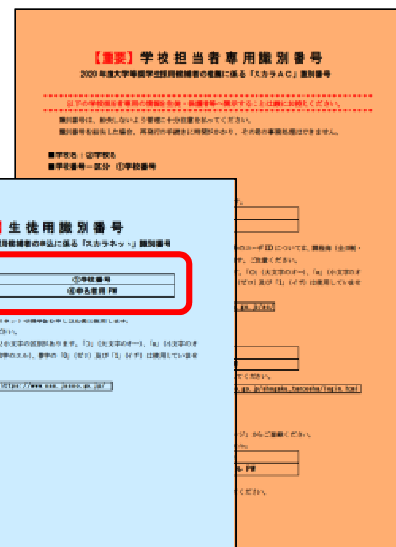
「識別番号票」に記載の「**生徒用**識別番号」を伝えてください。

- パスワードは、1年ごとに変更します。
今年度送付する識別番号票を確認してください。
- パスワードには、**学校担当者用**と**生徒用**の2種類があります。
生徒に対して、**学校担当者用を交付しないよう注意**してください。

生徒用 : スカラネットでの**申込入力時**に使用
学校担当者用 : スカラACでの**推薦入力時**に使用

スカラネットでの申込入力には、次の**2組のID・パスワードが必要**です。

- ① **学校から交付された**生徒用識別番号（ユーザID・パスワード）
- ② 「**マイナンバー提出書**」に印字された「**申込ID・パスワード**」



生徒用（水色）・学校担当者用（オレンジ）

Ⅵ 申込手續の要点

2. 提出書類

			貸与奨学金	給付奨学金
生徒 ↓ 学校	① 「提出書類一覧表」	必要書類を確認し、漏れなく正しく提出するための様式	全員	
	② 「確認書」 ※親権者が署名押印できない場合等の追加提出書類等を含む	奨学金の申込みにあたり、機構の諸規定を確認し、遵守することを約束する書類	全員 「貸与奨学金確認書兼個人信用情報の取扱いに関する同意書」	全員 「給付奨学金確認書」
	③ 申込資格に関する証明書類	外国籍の申込者について、申込資格を満たすことの証明書類	該当者のみ	
	④ 収入に関する証明書類 ※マイナンバーの提出によって提出不要となった以外の証明書類	スカラネットで申告（入力）した収入の証明書類	該当者のみ	該当者のみ ※申込者本人に市町村民税が課税されているときに限る
	⑤ 特別控除に関する証明書類	単身赴任等の特別控除事由に該当し、控除の申請を希望する場合に提出する書類	該当者（希望者）のみ	
生徒 ↓ 機構	マイナンバー提出書類	本人・生計維持者のマイナンバーを提出するための様式及び証明書類	全員 ●「マイナンバー提出書」 ●番号確認書類 ●身元確認書類	
学校 ↓ 機構	推薦書類	スカラACでの推薦後、生徒から提出された申込書類(上記①～⑤)を機構に送付する際の一式	●推薦報告書兼推薦書類送付書（様式1） ●推薦者一覧表（スカラACから出力） ●生徒から提出された申込書類（①～⑤） } 学校作成	

Ⅵ 申込手續の要点

3. スカラネット入力準備用紙

スカラネット入力の準備として、「申込みのてびき」を読みながら「スカラネット入力準備用紙」に記入します。

○・・・記入が必要 —・・・記入不要

項目	給付	貸与	記入内容の概要
① ID・パスワード	○		学校から交付された生徒用識別番号（ユーザID・パスワード）と、「マイナンバー提出書」に記載の「申込ID・パスワード」を記入します。
② あなたの情報	○		生徒の氏名・生年月日・国籍・在留資格等を記入します。
③ 在学情報	○		生徒の在籍する学校の学科やクラス・出席番号等を記入します。
④ 奨学金申込情報	○		申し込む奨学金の種類を記入します。 ● 貸与奨学金を申し込む場合、現在考えている貸与月額等も記入します。
⑤ 家族情報	○		生徒の家庭の状況や家族人数等を記入します。
⑥ 生計維持者情報	○		生計維持者の氏名やマイナンバーの提出（準備）状況等を記入します。 ● 貸与奨学金を申し込む場合、収入状況も記入します。
⑦ 資産の申告	○	—	給付奨学金を申し込む場合、申込者本人・生計維持者の資産の合計額及び合計額が基準額未満であることを記入します。
⑧ 就学者・就学前の家族	—	○	家族の中の該当する人の氏名等を記入します。
⑨ その他の家族	—	○	
⑩ 特記情報	—	○	母子世帯である等特記すべき状況について記入します。

4. 申込資格の申告（申込者本人の情報）

スカラネットにて国籍を入力して申告します。

申込者（生徒）が外国籍の場合、在留資格を（在留資格によっては在留期間も）入力して申告します。

また、在留資格により下表の証明書類の提出が必要です。

在留資格	証明書類
法定特別永住者	特別永住者証明書（コピー） または 在留資格記載の住民票（原本）
永住者 日本人の配偶者等 永住者の配偶者等 定住者	在留カード（コピー） または 在留資格記載の住民票（原本）

- 在留資格は「出入国管理及び難民認定法」（昭和26年政令第319号）によります。
- 法定特別永住者については、「日本国との平和条約に基づき日本の国籍を離脱した者等の出入国管理に関する特例法」（平成3年法律第71号）によります。
- 定住者については、将来永住する意思の認められない人は、申込資格がありません。
- 上表以外の在留資格の場合、申込資格がありません。

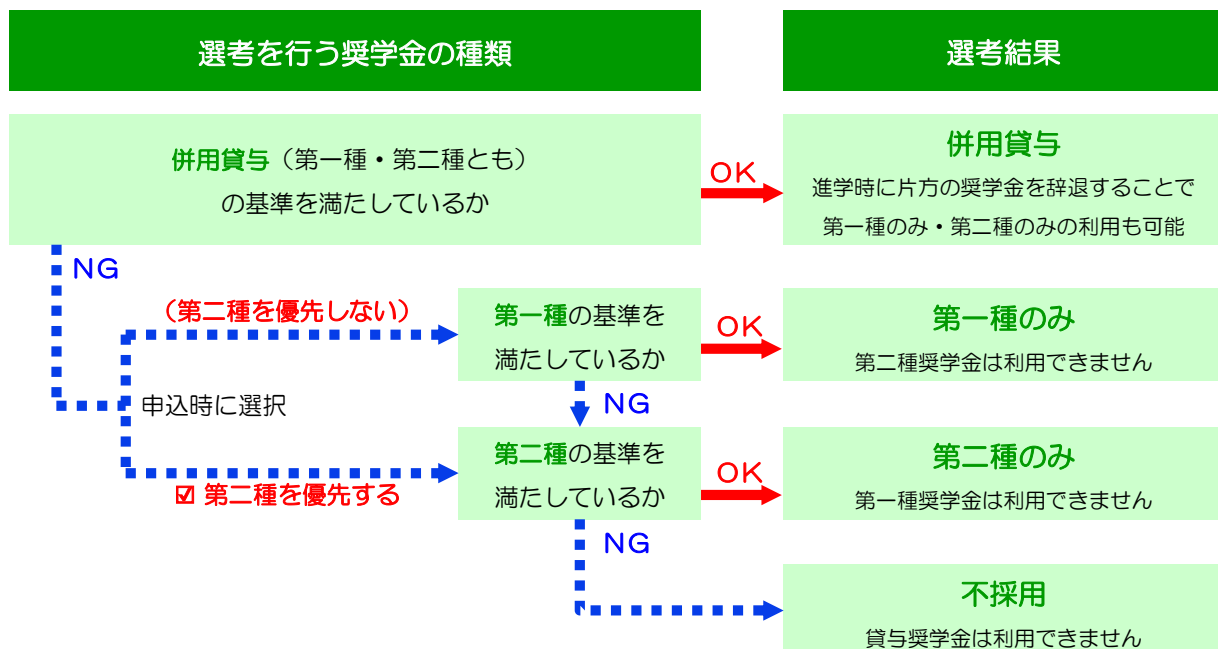
Ⅵ 申込手続の要点

5. 「申込区分」の選択と判定の順番（貸与奨学金）

貸与奨学金を希望する場合、一律、併用貸与（第一種・第二種両方とも利用）の基準の適否から判定します。

（第一種よりも第二種を優先するか否かについてはスカラネットにて選択します。）

- 利用しない奨学金については、進学時に辞退できます。



6. 保証制度の選択（貸与奨学金）

貸与奨学金の保証制度は、原則、第一種奨学金・第二種奨学金の両方同じものを選択します。

ただし、第一種奨学金について、返還方式を「所得連動返還方式」とした場合は機関保証が必須となるため、第二種奨学金については、第一種奨学金とは別に保証制度を選択することができます。

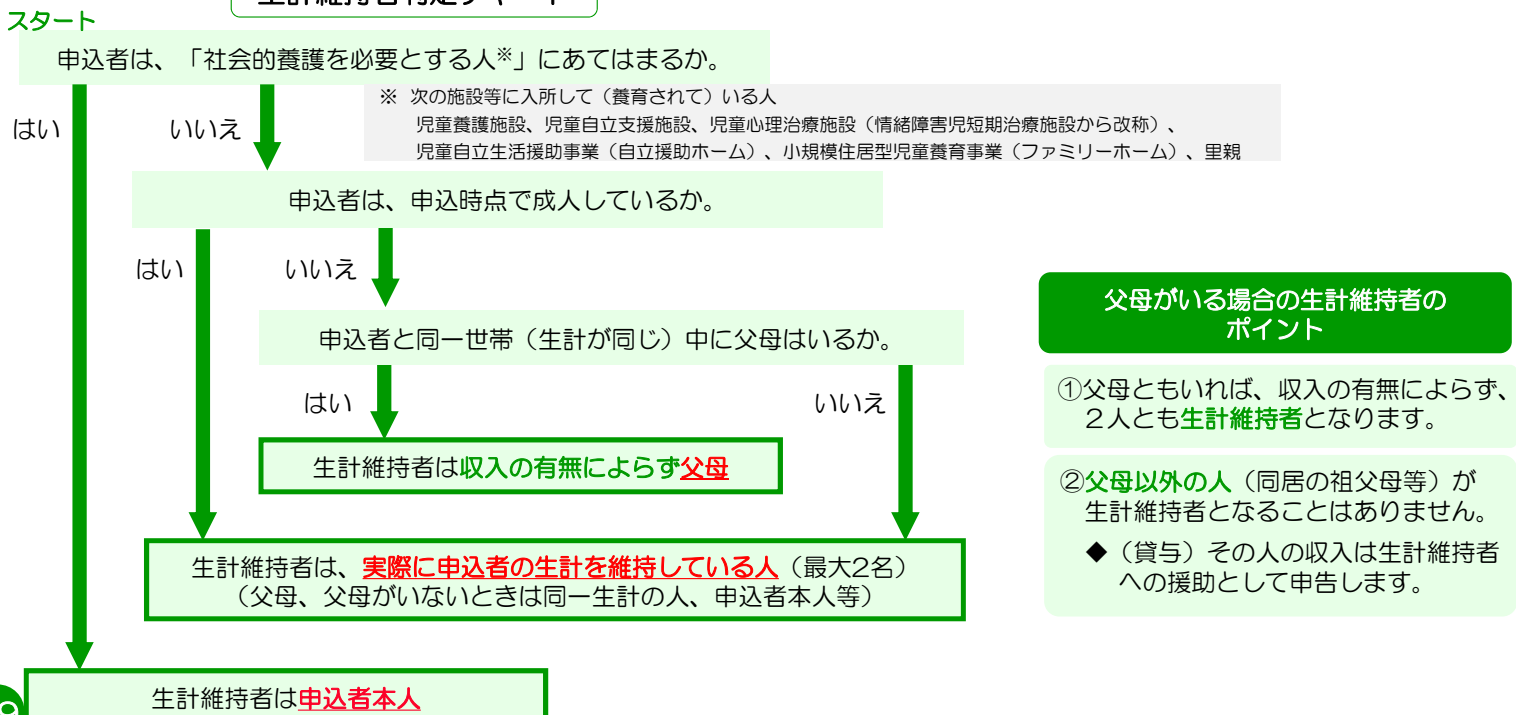
	第一種奨学金の返還方式として 定額返還方式を選択した場合	第一種奨学金の返還方式として 所得連動返還方式を選択した場合
①第一種奨学金の保証制度	機関保証、人的保証のどちらかを選択	機関保証（選択不可）
②第二種奨学金の保証制度	①で選択した保証制度と同じ	機関保証、人的保証のどちらかを選択
③入学時特別増額貸与奨学金の 保証制度	①で選択した保証制度と同じ	②で選択した保証制度と同じ

Ⅵ 申込手続の要点

7. 生計維持者

「家計支持者」について、今年度から用語を改め「**生計維持者**」としました。（内容に変更はありません）

生計維持者判定チャート



8. 収入に関する証明書類（貸与奨学金）

貸与奨学金の収入基準の判定において、生計維持者に**マイナンバーで取得できない収入**がある場合、

「収入に関する証明書類」として**紙媒体の証明書類**の提出が必要です。

- 「提出書類一覧表」裏面（収入計算欄）にて生計維持者の該当する収入状況に☑を入れることで**必要な証明書類が分かります**。
（☑が入らない場合は、紙媒体の証明書類は提出不要です。）

生計維持者の所得の状況		マイナンバー で取得	収入に関する 証明書類
社会的養護を必要とする生徒（施設在籍者等）		×	施設在籍証明書 里親委託証明書
無収入	2018年1月1日以前から無収入	○	
	2018年1月2日以降に退職・廃業	×	退職証明書等 又は「退職に関する 事情書」（様式F）
収入あり	給与収入 次の①～③を すべて 満たす ① 国内勤務 ② 2018年1月1日以前から勤務 ③ 2018年中に休職期間なし ● 現在複数の事業所で勤務している場合、 どの勤務先についても上記①～③をすべてを満たす	○	
	上記以外 ● 現在複数の事業所で勤務している場合、 どこか1つの勤務先でも上記①～③のどれかを満たさない	×	給与明細 （直近3か月分）

生計維持者の所得の状況		マイナンバー で取得	収入に関する 証明書類
収入あり	給与以外の所得 （自営・農業等） 次の①・②を 両方とも 満たす ① 国内での所得 ② 2018年1月1日以前から継続している所得 ● 現在複数の給与以外の所得がある場合、 どれも上記①・②とも満たす 上記以外 ● 現在複数の給与以外の所得がある場合、 どれか1つでも上記①か②を満たさない	○ ×	 「開業収入計算書」 （様式D）・帳簿
	雇用保険（失業手当）	○	
	生活保護	○	
	年金	×	年金振込通知書 又は年金証書 等
	傷病手当金	×	傷病手当金通知書
	児童手当・児童扶養手当・特別児童扶養手当	×	申込時点の受給額記 載の通知書 又は通帳のコピー
	その他の収入 （親族等からの援助・慰謝料・養育費・上記以外の公的手当等）	×	「援助年額の証明」 （様式E） 又は公正証書・調停 調書等

- 貸与奨学金・給付奨学金とも、**マイナンバーを提出できない場合や、マイナンバーで所定の情報が取得できない場合は**、
本来、マイナンバーで取得できる収入について、紙媒体の証明書類が必要になります。

9. 収入に関する証明書類（給付奨学金）

給付奨学金の家計基準に係る申込者本人の所得については、2018年1月～12月の1年間の所得金額を確認のうえ、スカラネットにて所定の金額（下表）を超えているか否かを申告します。

申込者本人の年齢	2018年1～12月までの1年間の所得金額
未成年	額面200万円（（市町村民税が課税される）所得125万円）
成年	額面100万円（（市町村民税が課税される）所得35万円）

● 未成年・成年の区分は、2019年1月1日時点の年齢によります。

所得金額が上表の金額を超えている場合は、「2019年度の課税証明書」（コピー可）を提出します。

● 提出する「2019年度の課税証明書」は、次の項目が記載されていることが必要です。

課税標準額 調整控除額 調整額 扶養親族の数 合計所得金額

Ⅵ 申込手続の要点

10. 確認書の作成

(1) 用紙の確認

～ 確認のポイント ～

- ① 奨学金の種類と一致しているか（給付奨学金を申し込む→「給付奨学金確認書」）
- ② 2020年度入学者用の「確認書」を使用しているか
- ③ 裏面が印刷されているか

● コピー可（白黒印刷可）。ただし、1枚の用紙に両面印刷したものに限ります。

～ 不備事由 ～

- × 平成31（2019）年度入学者用以前の「確認書兼同意書」を使用している（様式が古い）
- × 裏面の「約款」が印刷されていない・印刷が欠けている
- × 1枚の用紙に両面印刷されていない（2枚の用紙をホチキス留め・のり付けしている）
- × 収入証明書等がのり付けされ、裏面の「約款」が読めない状態になっている

VI 申込手続の要点

2020年度入学者用

貸与奨学金確認書
個人信用情報の取扱いに関する同意書
独立行政法人日本学生支援機構理事長 殿

過去のものは不可

※受付番号はスカネットによる申込完了後に発行される番号です。必ず記入してください。

学校名	学年	組	出席番号	電話番号	性別(任意)
本人氏名	フリガナ	漢字	姓	名	男・女
現在住所	〒	市	区	丁目	番
生年月日	昭和・平成	年	月	日	

表面

「約款」が印刷されているか

印刷が一部欠けているものは不可

裏面が空白又は「約款」以外の
印字がされているものは不可

裏面

VI 申込手続の要点

(2) 記入内容の確認

～ 確認のポイント ～

- ・日付、受付番号が記入されているか
- ・本人及び親権者の署名・押印・住所が
それぞれの人により記入、押印されているか
- ・黒又は青のボールペンで署名されているか
- ・押印が正しくされているか
- ・訂正がある場合は正しい訂正方法で訂正
されているか

～ 不備事由 ～

- × 同一筆跡 又は 同一印と思われる
- × 鉛筆書き、消せるボールペンを使用している
- × 修正液や修正テープを使用し訂正している
- × 署名、押印後にコピーしたものが提出されている

② 親権者記入欄

訂正する場合は、二重線で消して、
その人が使用した印を押し、
余白に正しい事項を記入してください。

本人が未成年者の場合

本人が未成年者の場合は、親権者（民法で定める親権者のことで過半数は両親（いづれかいないときは一人））が上記本人の奨学金申込み時意の上、下記に白書き・押印してください。親権者がいない場合は、民法で定める未成年後見人が白書き・押印してください。

氏名	奨学 和美	生年月日	昭和45年5月3日	本人との続柄	父
現住所	〒123-4567 東京都千代田区1-1-92				
氏名	奨学 和美	生年月日	昭和48年2月11日	本人との続柄	母
現住所	〒123-4567 東京都千代田区1-1-92				

押し直す場合は、印影や訂正線に
重ならないように押印してください。

③ 生計維持者記入欄<給付奨学金確認書のみ>

該当する国籍または在留資格にマルをします。
※d～fの在留資格に該当する場合は、在留期限（在留期間の満了日）も記入してください。

国籍又は在留資格
[該当者○で書く]

③日本国籍 b 法定特別永住者 c 永住者 d 定住者（永住者要領がある者に限る） e 日本人の配偶者等
[永住者の配偶者等 ※d～fの該当者は在留期限（在留期間の満了日）を記入（年 月）]

氏名	奨学 優	生年月日	昭和45年5月3日	本人との続柄	父
現住所	〒123-4567 東京都千代田区1-1-92				
氏名	奨学 和美	生年月日	昭和48年2月11日	本人との続柄	母
現住所	〒123-4567 東京都千代田区1-1-92				

本人が生計維持者の資産の合計額 2,000万円未満（生計維持者が1人の場合は1,250万円未満）

今年度の「給付奨学金確認書」から、次の欄が新設されています。

- ・生徒本人の国籍・在留資格申告欄
- ・「生計維持者」の記入欄

Ⅵ 申込手續の要点

11. スカラネット入力上の留意点

ログイン

学校から交付する「**生徒用**識別番号」（ユーザID・パスワード）と、「**マイナンバー提出書**」に記載の「**申込ID・パスワード**」の**2組のID・パスワードが必要**です。

時間制限

各画面30分でタイムアウトとなるため、「スカラネット入力準備用紙」の記入を完了させてから入力します。

利用可能な環境

モバイル端末（**スマートフォン・タブレット**）に対応しました。

- 画面のデザインも変更されています。

使用可能文字

使用可能な文字を拡張しました。（エラーになる場合は通用字体で入力）

受付番号

入力（データ送信）完了後、画面に表示される「**受付番号**」を控え、各提出書類の受付番号欄に記入します。

（画面イメージは開発中のものです）

Ⅵ 申込手續の要点

12. マイナンバーの提出

マイナンバーの提出が必要な人

- ① 申込者本人
- ② 生計維持者（2名いれば2名とも）

いずれか**1点**

- 番号確認書類
- ① マイナンバーカード（裏面）のコピー
 - ② 通知カードのコピー
 - ③ マイナンバー（個人番号）記載の住民票（コピー可）

提出書類

- ① 「マイナンバー提出書」
- ② 申込者本人の**番号確認書類**
- ③ 生計維持者の**番号確認書類**
- ④ 申込者本人の**身元確認書類**

身元確認書類

いずれか**1点**
(コピー)

マイナンバーカード
(表面)

パスポート 運転免許証
在留カード 特別永住者証明書
障害者手帳 療育手帳

小型船舶操縦免許証 **写真付き**学生証

写真付き生徒手帳
(在学証・生徒証明書・身分証明書のページ)

いずれか**2点**
(コピー)

健康保険証 在学証明書
年金手帳 写真なしの学生証
戸籍謄本又は戸籍抄本
写真なしの生徒手帳
(在学証・生徒証明書・身分証明書のページ)
住民票又は住民票記載事項証明書
(番号確認書類に通知カードのコピーを提出する場合に限る)

※「氏名」と「生年月日」が記載（印字）されたページをコピーしてください。（ページが分かれている場合は、両方のページをコピー）

提出時期・方法

スカラネットで申込後、上記の書類を「**専用封筒**」に入れて、

1週間以内に郵便局の窓口から簡易書留で機構指定の送付先に郵送するよう申込者へご指導ください。

Ⅶ 推薦手続について

1. 推薦（スカラAC）

スカラネット申込

スカラネット入力の
翌日以降

ログイン

申込内容の確認 (2)

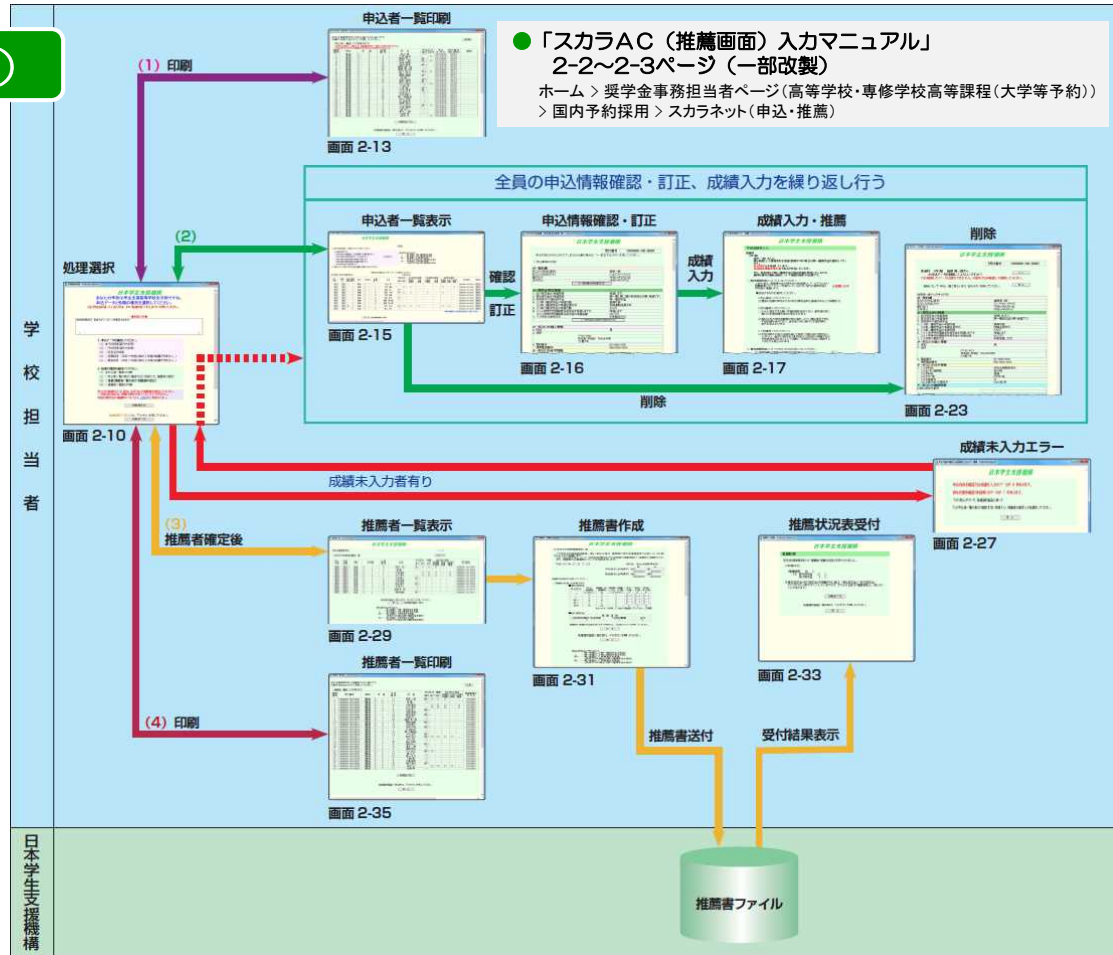
成績入力 (2)

成績入力まで
全員分完了してから

推薦書作成・推薦 (3)

推薦者一覧表印刷 (4)

機構に書類送付



Ⅶ 推薦手続について

2. 識別番号（ユーザID・パスワード）

「識別番号票」に記載の**学校担当者専用**識別番号（ユーザID・パスワード）にてスカラACにログインします。

- 識別番号がないと「申込・推薦」ができません。
紛失しないよう、取扱いには気をつけてください。
紛失した場合、再発行には時間がかかり、その間は申込・推薦ができなくなります。
- 「推薦事務のてびき」の裏表紙裏に**識別番号票貼付欄**を設けています。適宜ご利用いただき大切に保管してください。

The image shows two sample identification number tickets. The top one is for school representatives (orange) and the bottom one is for students (blue). Both tickets contain the following information:

- 【重要】主使用識別番号** (Important: Main Use Identification Number)
- 2020年度大学等奨学金生活支援機構の申込に際して「スカラネット」識別番号**
- ユーザID** (User ID)
- パスワード** (Password)
- 学校担当者専用** (School Representative Only)
- 生徒用** (Student Use)

学校担当者用（オレンジ）・生徒用（水色）

3. 成績入力

申込内容の確認後、成績等の推薦情報を入力します。

申込資格の確認

外国籍と申告のあった申込者について、
申込資格の証明書類にて、申込資格の
ある在留資格であることを確認します。

成績

評定平均値を入力します。

学習成績等入力

普通科

1年2組

機構 太郎 さんは
第1希望として併用貸与を希望(併用不可の場合は第一種奨学金を優先)してい
ます。

給付奨学金を希望しています。

社会的養護を必要とする者であると申告しています。

生活保護受給者の者であると申告しています。

また、併用貸与で第二種奨学金の最高月額を希望しているため、
適切な貸与月額の選択について確認(指導)が必要です。

1. 申込資格について

上記の者は、外国籍 在留資格 定住(永住の意思あり)と申告しています。

□確認書に在留資格を証明する書類が添付されていることを確認しました。

在留資格の確認のため、確認書に在留資格が記載された書類(住民票の写し等)を
添付することが必要です。

□在留資格が「定住」である生徒について、永住の意思があることを確認しました。

(注)奨学金の申込資格がある在留資格は、法定特別永住者、永住者、日本人の配偶者等、永住者の
配偶者等、定住者(将来、永住の意思があることが必要)となります。

2. 学習成績(5段階)の評定平均値について

学習成績(5段階)の評定平均値を記入してください。

30

(注)小数第二位を四捨五入して3.5、4.0と小数第一位まで記入してください。

半角数字

(画面イメージは開発中のものです)

Ⅶ 推薦手続について

学業等

申込者の希望する奨学金の種類や評定平均値により、学業等に関することを入力・選択します。

● 給付奨学金について

評定平均値が3.5未満の場合、文部科学省作成の
手引きに基づく学修意欲の確認等の結果を選択
します。条件を満たす申込者については、

○ レポートや面談などにより～

を選択してください。

● 第一種奨学金について

経済的理由により極めて修学に困難がある者は、
評定平均値が3.5未満の場合、「□特定の分野に
～」または「□進学先の学校における～」のい
ずれか該当する選択肢に☑をします。

● 第二種奨学金について

評定平均値に関わらず、第二種奨学金の学力基準を
満たしているか否かを入力します。

3. 給付型奨学金について入力してください。

<学力基準>

上記の者は、評定平均値が3.5未満です。以下のいずれかを選択してください。

○レポートや面談などにより学習意欲や進学目的を確認し、給付奨学生としてふさわし
いと判断できる。

○上記に該当しない。

4. 貸与型奨学金について入力してください。

(1) 第一種奨学金

上記の者は、評定平均値が3.5未満です。以下のいずれかを選択してください。

※経済的理由により極めて就学に困難がある者(社会的養護を必要とする者、
住民税非課税世帯の者、生活保護受給世帯の者のいずれか)が
以下のいずれかに該当する場合は、学力基準を満たすことになります。

□特定の分野において特に優れた資質能力を有し、進学先の学校において特に優れた
学習成績を修める見込みがあること

□進学先の学校における学修に意欲があり、進学先の学校において特に優れた学習
成績を修める見込みがあること

(2) 第二種奨学金

「第二種奨学金」の学力基準を満たしている。

◎はい ○いいえ

5. 適切な貸与月額の選択(借り過ぎ防止)について確認(指導)しましたか。

○はい ○いいえ

6. 特記すべきことを入力してください。

所見記入欄

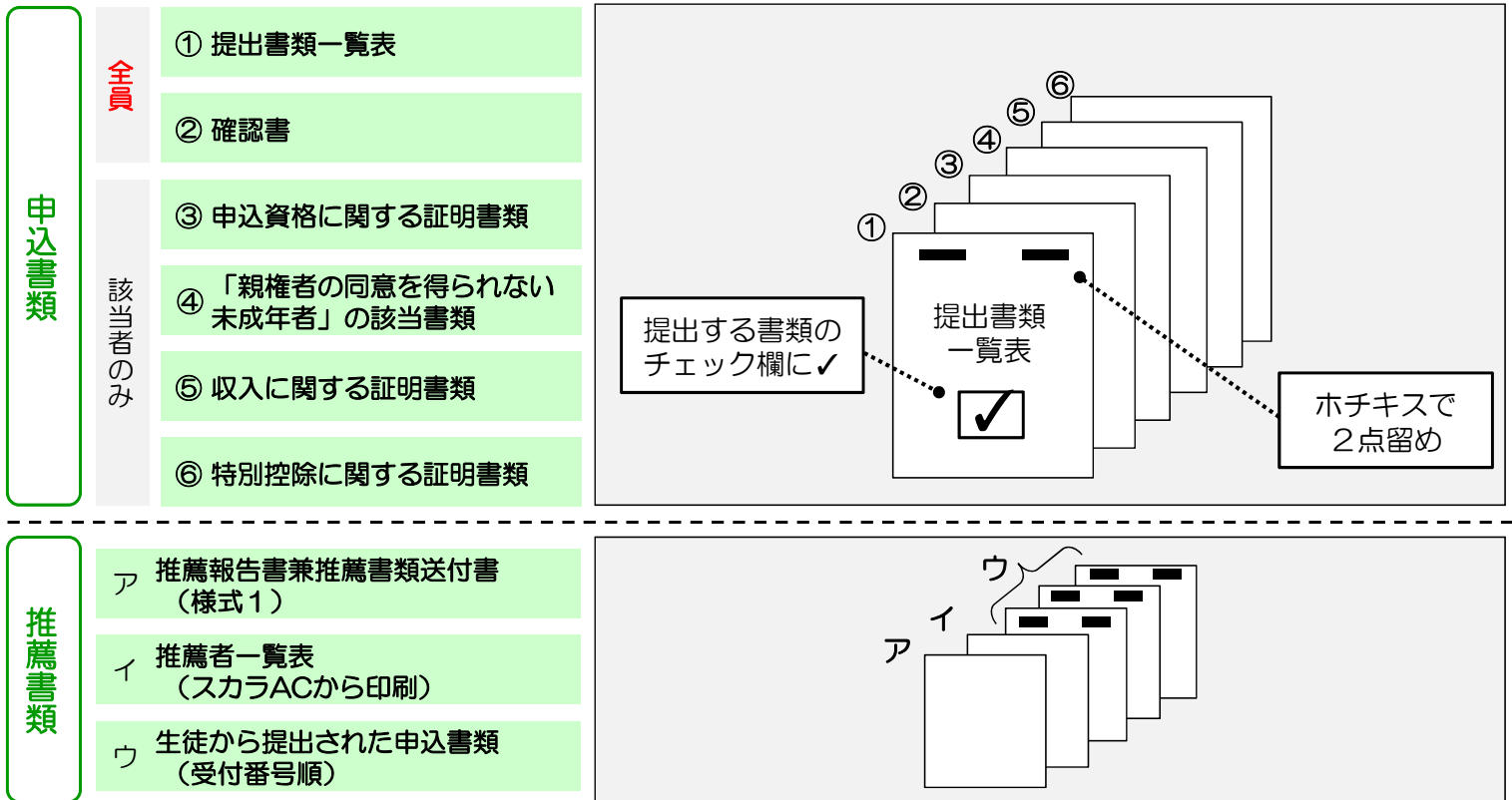
(全角200文字以内)

メモ/備考 等

(画面イメージは開発中のものです)

4. 機構への書類送付

スカラACでの推薦処理後、機構への書類送付をととのえ、送付してください。



5. 書類送付時の留意点

- 生徒から提出された書類一式等の送付先が変更となります。
決定次第別途お知らせいたします。（昨年度の送付先に送付しないでください。）
- マイナンバー提出書類が入っていませんか？
申込者から機構へ直接郵送するようご案内ください。
- 申込者全員の申込書類が調い、推薦作業が完了しましたら、お知らせした送付先へお送りください。
- 個人情報を含む書類のため、簡易書留等、授受の記録が残る方法でお送りください。
- 発送業者の「追跡サービス」等にて、届いていることをご確認ください。

6. 不備照会

推薦書類としてお送りいただいた書類に不足等の不備があった場合は、学校に照会票をお送りします。
お手数ですが、学校への提出期限を設定して照会票を生徒に渡し、回答をとりまとめて機構へお送りください。
主な不備事由は次のとおりです。

作成上の不備

「確認書」の記入漏れ、署名が**同一の筆跡**と思われる、同一の印影と思われる 等

生計維持者の誤り

生計維持者となるべき人の申告が漏れている (例：母は専業主婦のため父のみを生計維持者として申告した)

書類の不足

「**提出書類一覧表**」にチェックした書類が提出されていない 等

認められない書類

給与明細書が**1年前**のものである(古い) 等

生徒へお渡しいただく照会票に、**生徒・保護者からのお問い合わせ先(不備照会専用)**を記載してお送りする予定です。
「奨学金相談センター」、「マイナンバー提出専用コールセンター」とは異なるため、気を付けるようご案内ください。

Ⅷ 採用候補者への対応

選考後、選考結果及び関係書類を学校へ送付しますので、申込者全員に交付してください。
また、関係書類やガイダンス動画を確認し、採用候補者へ奨学金制度や必要な手続きについてご案内ください。

1. 進学前の準備

「採用候補者のしおり」に従い、次の準備を進めるようご案内をお願いします。

- ・奨学金振込口座の開設
- ・(貸与) **連帯保証人・保証人**の依頼(人的保証選択者のみ)
- ・(貸与) **入学時特別増額貸与奨学金**に係る手続き(日本政策金融公庫の申込手続きが必要と判定された者のみ)
- ・(貸与) 奨学金に関する事項(貸与月額、保証制度等)の見直し

2. 決定通知の保管

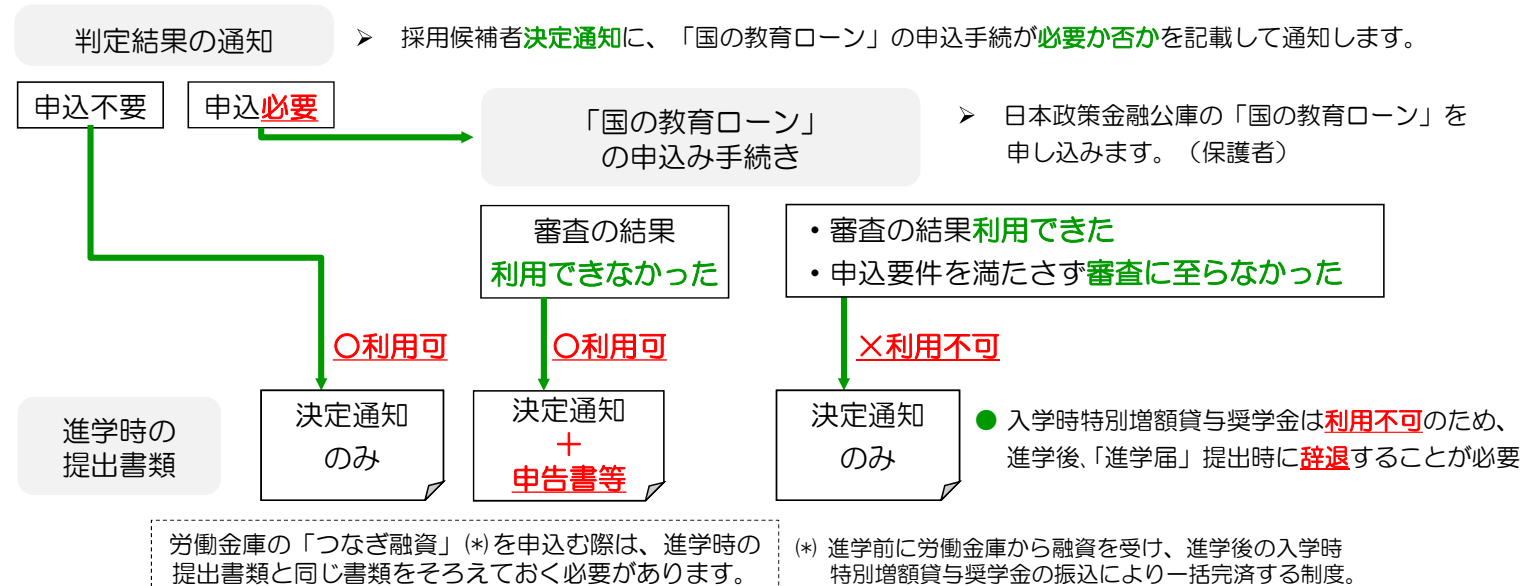
「採用候補者決定通知」は、進学後、進学先の学校に提出し、奨学金の手続きに使用する
大変重要な書類です。**決して無くすことのないよう**ご案内ください。

- 万一、紛失等により再発行が必要となった場合、**進学後**に、進学先の大学等に申し出るようご案内ください。

3. 入学時特別増額貸与奨学金

入学時特別増額貸与奨学金は、**日本政策金融公庫の「国の教育ローン」に申し込んだものの審査の結果利用できなかった**世帯の生徒が利用できる奨学金です。（そのことを示す書類（「申告書等」）が進学時に必要です。）
ただし、世帯の収入が一定額以下の場合は**「国の教育ローン」の申込手を省略できます**。

手続きの流れ



IX ご案内

1. ガイダンス動画（DVD）

○ 予約採用申込希望者向けのガイダンス動画を収録したDVDを各学校にお送りしています。生徒へ周知、説明する際にご活用ください。（給付奨学金の拡充を踏まえた内容のDVDは、5月下旬に各学校へ送付します。）

- ・ 予約採用へ申し込む生徒向け 「奨学金を希望する皆さんへ（予約採用）」
- ・ 採用候補者として決定された生徒向け 「採用候補者の皆さんへ（予約採用）」

○ 機構のホームページにも掲載しています。 <https://www.jasso.go.jp/shogakukin/moshikomi/yoyaku/movie.html>



2. 奨学金事務担当者ページ


https://www.jasso.go.jp/shogaku_tantoshu/koukou/index.html

機構からの通知文・事務連絡、生徒向け配付資料等を掲載した、使用頻度の高いホームページです。

また、各種資料・ツール等も掲載していますので、ご活用ください。

- 閲覧に必要な **ID・パスワード** は、「推薦事務のてびき」又は「識別番号票」にてご確認ください。

(前年度と変更はありません。)



The screenshot shows the JASSO Scholarship Administrator Page. Red boxes and arrows highlight key features:

- Downloadable Documents:** Arrows point to the top navigation bar and the 'Download' button in the header, indicating that various formats can be downloaded.
- Excel-based Judgment:** An arrow points to the 'Recommendation' section, indicating that users can input conditions into an Excel spreadsheet to determine eligibility for loans and scholarships.
- Application and Recommendation Details:** An arrow points to the 'Recommendation' section, indicating that users can check details for online applications and recommendations (PC-based).
- FAQs:** An arrow points to the 'FAQ' link in the left sidebar, indicating that frequently asked questions are updated and posted.

【推薦事務に関するお問い合わせ先（学校担当者専用）】

独立行政法人日本学生支援機構 貸与・給付部採用課 予約採用係

〒162-8431 東京都新宿区市谷本村町10-7

TEL 03-6743-6037 FAX 03-6743-6670

(対応時間：年末年始を除く平日 8:30~18:15)

キリトリ線

《参照：26ページ》

(インターネットでの申込入力をした後、最後に表示される受付番号を必ず記入してください)

受付番号								- 100・107 -				
年	組		番		氏名							

	書 類 名	チェック欄		説明 ページ
		給付	貸与	
本様式	提出書類一覧表【様式A】	<input type="checkbox"/>		26ページ
確認書	給付確認書【様式B】、貸与確認書【様式C】	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	23～25 ページ
	申込資格に関する証明書類	<input type="checkbox"/>		7ページ
	病気や障がい等により親権者の同意を得られない（自署できない）場合の追加書類	<input type="checkbox"/>		該当する場合は、学校へ申し出てください
家計	あなたの所得に関する証明書類	<input type="checkbox"/>	—	15ページ
	生計維持者の収入に関する証明書類 (本様式裏面の「収入計算欄」にチェックが入った場合のみ必要)	—	<input type="checkbox"/>	12～14 ページ
特別 控除 関係	障がいのある人がいる世帯の場合の証明書類	—	<input type="checkbox"/>	18ページ
	単身赴任実費計算書【様式H】 + 生計維持者が単身赴任をしている場合の証明書類	—	<input type="checkbox"/>	18,20 ページ
	長期療養費計算書【様式I】 + 長期に療養を必要とする人がいる世帯の場合の証明書類	—	<input type="checkbox"/>	19,21 ページ
	災害等により長期間収入減（支出増）となった場合の証明書類	—	<input type="checkbox"/>	19ページ

【注意2】マイナンバー提出書及び身元確認書類等は、専用の封筒に入れて JASSO に直接郵送してください。

別紙① 提出書類一覧表（裏面）

様式A・裏面

収入計算欄

《参照：12～14ページ》

《生計を維持する者 ①》

生計維持者①氏名：

続柄

✓	申込時点の状況	必要な 証明書類	証明書類に 記載の金額	計算	年額
<input type="checkbox"/>	施設等に在籍または里親等に養育されている	A	0円	—	0円
<input type="checkbox"/>	2018年1月2日以降に退職・休職（廃業・休業）し、 現在、手当等も含め一切収入がない	B	0円	—	0円
<input type="checkbox"/>	(a)2018年1月2日以降に就職・転職した (b)2018年中に休職した (c)海外勤務（いつからかに関わらず） (d)現在、複数の勤務先があり、1つでも(a)～(c)に あてはまる	C	(月平均額) 円	×12 ×15	円 円
		D	—	—	円
		E	(月平均額) 円	×12	円
<input type="checkbox"/>	2018年1月2日以降に開業	F	(月額) 円	×12	円
<input type="checkbox"/>	年金を受給している	G	(月額平均) 円	×365	円
<input type="checkbox"/>	援助を受けている	H	—	—	円
		I	(月額) 円	×12	円
<input type="checkbox"/>	児童手当を受給している	J	(月額) 円	×12	円
<input type="checkbox"/>	児童扶養手当を受給している		(月額) 円	×12	円
<input type="checkbox"/>	特別児童扶養手当を受給している		(月額) 円	×12	円
<input type="checkbox"/>	その他（ ）	—	(月額) 円	×12	円

《生計を維持する者 ②》

生計維持者②氏名：

続柄

✓	申込時点の状況	必要な 証明書類	証明書類に 記載の金額	計算	年額
<input type="checkbox"/>	2018年1月2日以降に退職・休職（廃業・休業）し、 現在、手当等も含め一切収入がない	B	0円	—	0円
<input type="checkbox"/>	(a)2018年1月2日以降に就職・転職した (b)2018年中に休職した (c)海外勤務（いつからかに関わらず） (d)現在、複数の勤務先があり、1つでも(a)～(c)に あてはまる	C	(月平均額) 円	×12 ×15	円 円
		D	—	—	円
		E	(月平均額) 円	×12	円
<input type="checkbox"/>	2018年1月2日以降に開業	F	(月額) 円	×12	円
<input type="checkbox"/>	年金を受給している	G	(月額平均) 円	×365	円
<input type="checkbox"/>	援助を受けている	H	—	—	円
		I	(月額) 円	×12	円
<input type="checkbox"/>	児童手当を受給している	J	(月額) 円	×12	円
<input type="checkbox"/>	児童扶養手当を受給している		(月額) 円	×12	円
<input type="checkbox"/>	特別児童扶養手当を受給している		(月額) 円	×12	円
<input type="checkbox"/>	その他（ ）	—	(月額) 円	×12	円

別紙② スカラネット（生計維持者関係）画面イメージ

4. 生計維持者（原則父母、父母がいない場合は代わって生計を維持する人）について記入してください。

(1) 生計維持者①

(a) あなたから見た続柄

未選択 ▼

(b) 生計維持者①の氏名

姓

名

漢字（全角漢字）

カナ（全角カナ）

(c) 生計維持者①の生年月日

（和暦） 未選択 ▼ 年 月 日 半角数字

(d) 生計維持者①のマイナンバーを機軸に提出する準備はできていますか。

（注1）「その他」を選択した人は、提出できない事情を選択してください。

（注2）家計審査のため、マイナンバーの提出が原則必要です。

提出できない場合は、別途所得証明書等の証明書類の提出が必要となります。

- ☒ 準備できている
☐ これから準備する
☐ その他

(e) 生計維持者①は生活保護を受けていますか。

☐ はい ☐ いいえ

(f) (e)で「はい」と答えた人は、生活保護のうち、生活扶助を受けていますか。

☐ はい ☐ いいえ

(g) 生計維持者①は2019年1月1日の時点で日本国内に住んでいましたか。

☐ はい ☐ いいえ

＜以下、(h)～(i)は貸与奨学金の希望者のみ入力してください＞

(h) 生計維持者①の所得（申込時点の状況）について、該当するものをすべて選んでください。

- ☐ 1. 給与所得
☐ 2. 商店・農業工業、個人経営による所得
☐ 3. 失業手当
☐ 4. 生活保護費
☐ 5. 年金
☐ 6. 傷病手当
☐ 7. 児童手当・児童扶養手当・特別児童扶養手当
☐ 8. その他（公的手当、祖父母からの援助や養育費等）
☐ 9. 無収入

(i) (h)で1,2を選んだ人のうち、2018年1月2日以降に就職・転職・開業している場合は、以下にチェックのうえ、「直近3か月以上の給与明細書のコピー」等、現在の所得を証明できる書類を提出してください。

☐ 2018年1月2日以降に就職・転職・開業している

(j) (h)で9を選んだ人のうち、2018年1月2日以降に退職・廃業した場合は、以下にチェックのうえ、「退職票」、「退職証明書」等の書類を提出してください。

☐ 2018年1月2日以降に退職・廃業している

キリトリ線

2020 年度入学者用 奨学金案内 (国内予約用)